

新型コロナウイルス感染症と対策ポイント

浜松市薬剤師会 医薬品情報管理センター 2020. 2. 25

新型コロナウイルス感染症の特徴

現在、国内では中国武漢市での発生から検疫等の水際対策による感染防御が有効な期間も過ぎて、コロナウイルス感染者との接触が明らかでない人にも感染が広がる状況から、流行期（プレパンデミック期）に入ったといわれます。ウイルスについてはまだ不明点もありますが、ウイルス性の風邪の一種で、感染した場合「強い倦怠感、高熱、呼吸困難を呈する重症例」や「微熱、のどの痛み、鼻水程度の軽症例」「症状のない例」に分かれています。重症化すると肺炎になり死亡例も発生しています。特に高齢者や持病のある方は重症化しやすいので注意が必要です。

今のところ特別な治療薬はありません。脱水に対する補液や解熱剤の使用による対症療法が中心です。予防は通年の風邪や季節性のインフルエンザの予防対策と同様に各自の咳エチケットや手洗いなどが有効です。発熱などの風邪症状が現れたら、毎日朝夕体温を測定してください。

渡航歴や濃厚接触がなくても原因不明の肺炎であれば、新型コロナウイルスの検査対象となる場合があります、入院治療費は公費負担になります。

■身近にできる予防対策のポイント

飛沫感染と予防対策

感染した人の咳やくしゃみのしぶき（飛沫）に含まれるウイルスを吸い込むことによる感染です。咳やくしゃみが直接人にかからないよう、口や鼻をティッシュで覆うなどの咳エチケットを守り、周りの人への感染を予防するためマスクを着け、人が多く集まる場所は避けましょう。鼻水や痰の付いたティッシュやマスクなどのゴミを捨てる時は、他の人に触れないようビニール袋に入れ、しっかり口を縛り廃棄しましょう。

接触感染と予防対策

ウイルスの付着した手で、目・口・鼻を触ることによる感染です。流水と石鹸による手洗いを頻回に行いましょう。特に外出した後や咳をした後、食事の前後、目、口、鼻に触れる前には手洗いを徹底しましょう。また、ドアノブ等の手指がよく触れる場所は、消毒剤を浸したペーパータオル等でふき取り消毒を行いましょう。

■感染が疑われる症状がある場合の相談・受診の目安と相談先

- ・通常、軽い風邪様症状で1週間以内に症状が軽快しそうであれば、自宅での安静で様子を見ます。
- ・37.5度以上の発熱が4日以上続いている（解熱剤を飲み続けている）、強いだるさ（倦怠感）、咳・痰が出る、息苦しさ（呼吸困難）、めまい、下痢等の症状がある場合、又、高齢者、糖尿病、心不全、呼吸器疾患（慢性閉塞性肺 患等）、透析を受けている、免疫抑制剤・抗がん剤などを使用中、妊婦さん等にこれらの状態が2日程 度続く場合は、直接医療機関にかかる前に以下の連絡先へお問い合わせください。

感染の疑いのある場合は、【帰国者・接触者外来】を設置してある医療機関を案内されます。

* 静岡県庁「専用相談ダイヤル」 電話番号 054-221-8560 平日 8:30~17:00

* 浜松市保健所「帰国者・接触者相談センター」 電話番号 053-453-6118 平日 8:30~21:00

土日/祝日 9:00~21:00